

平成25年度事業報告

平成25年に入って景気は持ち直しに転じており、長引くデフレから反転する兆しが現れ、金融政策と機動的な財政政策の実施によって家計や企業のマインドが改善した。デフレ状況にも変化が見られており、消費者物価の前年比下落幅が縮小し、成長戦略も動き始めた。

こうした現状を意識しつつ、平成24年度スタートさせた県内を周遊する観光ブランド「ビワイチ」事業として滋賀に秘められた多彩な観光資源を活かした体験・体感型のツアーに取り組むとともに、滋賀の自然・歴史・文化などの地域情報を継続し、伊勢神宮式年遷宮に合わせて多賀大社の親子神様詣りを引き続き実施した。このような多彩な観光物産資源について、あらゆる媒体により情報発信することによって、本県の知名度アップを図り、誘客促進につなげた。

インバウンド事業では、これまでから多く来県している台湾・韓国・香港等に対して、ウェブサイトの go.biwako による情報を継続発信した。また、新規誘致のターゲットとしてタイ、ベトナムなど東南アジア各国に対して滋賀県の認知度アップを図るため、現地プロモーション活動を実施したほか、タイの旅行会社を招請しての県内視察や商談会を開くなどの取り組みを行った。

同時に、国内外からのコンベンションの誘致や首都圏を中心に海外も視野に入れた教育旅行の誘致促進活動にも取り組んだ。

一方、物産振興においては、本県で製造販売されている優れた物産品の販路開拓に向けて東京の高島屋での「第26回琵琶湖夢街道大近江展」をはじめ、東京、名古屋など大都市での郷土物産展の開催や県内消費者に対して特産品・滋賀ブランドの認知度を高めるため「滋賀のええもんコンクール」などを開催した。

このほか、平成25年4月1日付けで公益社団法人として発足するとともに、社会的評価・信用に応えられるよう運営体制や会計の健全化等に取り組んだ。

1 諸会議の開催

(1) 定時総会

日 時	平成25年5月29日(水) 午後2時30分より
場 所	琵琶湖ホテル 「瑠璃」
表 彰	平成25年度 観光物産振興功労者の知事表彰 平成25年度 観光物産事業功労者等の会長表彰
議 事	第1号議案 平成24年度計算書類承認について 第2号議案 理事の選任について 第3号議案 監事の選任について 第4号議案 公益社団法人びわこビジターズビューロー役員の報酬等に関する 規程の一部を改正する規程(案)について
報 告	・平成24年度事業報告について ・平成25年度事業計画書、収支予算書ならびに資金調達および設備投資の見込みについて

(2) 理事会

① 第1回理事会

日 時 平成25年5月14日(火) 午後3時より
場 所 コラボしが21 3階 「中会議室2」
議 事 第1号議案 会員の入退会について
第2号議案 平成24年度事業報告および決算について
第3号議案 平成25年度観光物産事業功労者等の選考について
第4号議案 平成25年度定時総会について
第5号議案 専務理事および常務理事の職務分担について

② 第2回理事会

日 時 平成25年5月29日(水) 午後4時15分より
場 所 琵琶湖ホテル 3階 「オレンジ・ブラウン」
議 事 第1号議案 公益社団法人びわこビジターズビューロー役員の選定について
第2号議案 公益社団法人びわこビジターズビューロー企画委員会および宣伝
キャンペーン委員会委員の選任について

③ 第3回理事会 (決議の省略)

決議があったものとみなされた日

平成25年6月28日(金)

決議があったものとみなされた事項の内容

第1号議案 会員の入退会について
第2号議案 公益社団法人びわこビジターズビューロー職員の給与および旅費
支給規程の付則改正につき決議を求めることについて

④ 第4回理事会

日 時 平成25年11月11日(月) 午後1時30分より
場 所 コラボしが21 3階 「中会議室1」
議 事 第1号議案 会員の入会承認について
第2号議案 平成25年度事業計画書および収支予算書の変更について
報 告 ・平成25年度執行状況報告について
・自由民主党滋賀県議会議員団 平成26年度県予算編成に対する各種団体要望
について
・滋賀観光物産情報センターについて

⑤ 第5回理事会

日 時 平成26年3月18日(火) 午前10時より
場 所 コラボしが21 6階 労働福祉セミナー室
議 事 第1号議案 会員の入会承認について
第2号議案 平成26年度事業計画(案)、収支予算(案)ならびに資金調達
および設備投資の見込みについて
報 告 ・中期計画(素案)について
・平成25年度執行状況報告について

(3) 委員会

① 第1回企画委員会

日 時 平成25年9月18日(水) 午後2時より
場 所 コラボしが21 3階 ミーティングルーム2
議 題 第1号議案 委員長、副委員長の選出について
第2号議案 平成25年度事業計画の変更(案)および収支補正予算(案)について
第3号議案 平成25年度事業実施状況について

② 第1回宣伝キャンペーン委員会

日 時 平成26年 3月13日(木) 午前10時30分より
場 所 コラボしが21 6階 労働福祉セミナー室
議 題 第1号議案 宣伝キャンペーン委員会の委員長、副委員長の選任について
第2号議案 平成26年度広報宣伝事業の展開について

③ 第2回企画委員会

日 時 平成26年3月11日(火) 午前10時より
場 所 コラボしが21 3階 ミーティングルーム2
議 題 第1号議案 中期計画(素案)について
第2号議案 平成26年度事業計画(案)、収支予算(案)ならびに資金調達および設備投資の見込みについて

2 事業執行状況

(1) 観光物産情報発信事業

メディアを有効に活用しながら、滋賀県の奥深い魅力や多様な観光・物産資源を広く継続的に発信することで本県の認知度向上を図るとともに、県外からの誘客に努めた。

観光ブランド「ビワイチ」では、新たな観光素材の発掘に努め地域観光協会と協働して誘客促進を図るとともに、湖東三山スマートインターの開通を機に、マイカー観光客をターゲットに「ビワイチApp」を活用したスタンプラリーを湖東地域で展開をスタートさせた。また、県内の日本100選として選ばれた観光名所をテーマにし、モデルコースや100選マップの冊子作成およびWeb発信に取り組み新たな魅力発信を強化した。

① 観光物産情報ホームページの運用

観光物産情報を効率的、効果的に発信するため、県内の観光物産関連情報を本会に集約して情報の一元化を行うとともに、滋賀県を目的とした観光需要を喚起するため、メール等による情報発信を行った。

- ・観光物産情報データベースの運営(レンタルサーバ、セキュリティシステム)
- ・各種データベースの更新
- ・ウェブコンテンツの追加・新設

日本の100選「滋賀・近江路をゆく」

SHIGA café & sweets(100店舗を掲載)

- ・メールマガジン発行(滋賀県観光ファンクラブ) 毎月2回、グルメ情報も含め発信

・ホームページ閲覧状況 5,190,677人 14,221件/日

・特派員ブロガー（10名）の実施

引き続き特派員ブロガーを継続して、不定期にブログを発表、県内観光情報を発信

② パブリシティの展開

マスコミ事情に精通したパブリシティ専門会社を一部活用しながら、プレスツアーや個別の取材誘致等を仕掛けることにより、観光情報を効果的に発信した。

・プレスツアー（年2回）

7月2日（火）～3日（水）

「黒田官兵衛のルーツを訪ねて」として湖北をめぐる 参加媒体15社15名

11月19日（火）～20日（水）

「万葉・忍者の里ロマンを巡るプレスツアー」 東近江・甲賀地域

参加媒体11社11名

・ニュースリリースおよびメールマガジン

滋賀大好きマガジン（一般向け）びわこ発観光情報（プレス、エージェント向け）の2種類

4月「カフェめぐり（大津・湖南・甲賀）」「GWにぴったりのイベント情報」他

5月「湖国のお宝拝観情報」「各地のフォトコン開催情報」「イチゴスイーツ紹介」他

6月「父の日特集（イベント、グルメ、グッズ紹介）」他

7月「県内花火大会情報」「祭、イベント、展示会情報」他

8月「夏のグルメ特集（湖北、東近江、大津）」他

9月「ミュージアムめぐり」「秋の祭、イベント情報」他

10月「カフェ特集（大津、湖西、東近江、湖北）」他

11月「冬のグルメ特集（甲賀、湖東、湖西）」他

12月「クリスマスイルミネーション情報」「パーティー、冬の食情報」他

「除夜の鐘情報」「初詣、年始の祭事情報」他

・番組タイアップ（6月30日（日） 読売テレビ「遠くへいきたい」で“琵琶湖ハンティングワールド”～高島市～を紹介した。）

・BBC、KBS等との連携

・テレビ協力、出演等

三重テレビ スノースポーツ（スキー場、スタンプラリー等）紹介12月13日（金）

奈良テレビ スノースポーツ（スキー場、スタンプラリー等）紹介12月17日（火）

岐阜放送 長浜盆梅展、雪見船、ひな人形めぐり紹介2月18日（火）

テレビ和歌山 長浜盆梅展、雪見船、ひな人形めぐり紹介2月18日（火）

・ラジオ協力、出演等

FMラジオ「U☆TIME Cafe」各月土曜日放送 第1週 ビューロー、他週 各市町

岐阜ラジオ「月金ラジオ2時6時」しゅららぼん、黒田官兵衛博覧会、湖東三山スタンプラリー等紹介3月18日（火）

・配送システム 年4回情報誌「滋賀たび」と各市町および会員の資料等同封し、プレス・エージェント約1500件に送付し、情報発信を実施した。

③ 観光キャンペーン事業

一般の方々やエージェント向けに県内の観光スポットや季節ごとの観光・イベント情報を発信するため、キャンペーン事業を行い、本県への誘客促進を図った。

また、県および各市町の情報を集約し、広域で連携して県外へ情報を発信していくため、情報誌「滋賀たび」を年4回発行した。

夏号	「滋賀の歴史と自然を味わう旅 長浜エリア」他 (12P)	150,000部
秋号	「滋賀の歴史と自然を味わう旅 高島エリア」他 (16P)	150,000部
冬号	「滋賀の歴史と自然を味わう旅 愛荘エリア」他 (16P)	150,000部
春号	「滋賀の歴史と自然を味わう旅 大津エリア」他 (16P)	134,000部



④ J R西日本共同キャンペーン

琵琶湖環状線の開業に合わせて展開してきたキャンペーンについては、滋賀県の更なる魅力を発信していくため、J R西日本と共同で事業を展開した。

事業主体「びわこキャンペーン推進協議会」

(構成：滋賀県、びわこビジターズビューロー、J R西日本、各地域観光振興協議会)

- ・情報誌「滋賀たび」の発行 (再掲)
- ・観光開発

J R西日本と共同して地域観光資源の開発を行い、平成25年の旅行商品として旅行会社へ素材提案を行った。

駅から観タクン滋賀・DISCOVER WESTハイキング・特別講座・特別公開・お詠え

- ・旅行会社へのアプローチ

旅行会社商品造成担当者等による商談会および現地研修会を(公社)びわ湖大津観光協会と共催にて開催した。

平成25年9月9日(月)～10日(火)

琵琶湖汽船および大津地区の宿泊



・鹿児島・岡山・博多・熊本、その他JR大阪・金沢・広島各駅での観光キャンペーンの実施



・駅から歩こう観光素材開発・発信事業

既存の「滋賀を歩こう」42コースをホームページ上で発信した。

⑤ 観光展出展事業

平成25年 9月12日(木)～15日(日) JATA旅博 東京ビッグサイト

平成25年11月 8日(金)～10日(日) 旅フェア 池袋・サンシャインシティ

平成26年 3月15日(土)～16日(日) 旅まつり名古屋 名古屋・久屋広場

⑥ ビワイチ観光ウオーキング認定事業

びわ湖を歩いて一周した人を「ビワイチ観光ウオーカー」として認定した。

3月末現在 認定件数 1,164件

⑦ 東海地区観光物産情報発信事業

・滋賀県観光キャンペーンを実施

平成26年2月10日(月)～11日(火) 金山総合駅 (9日にプレス訪問)

平成26年3月15日(土)～16日(日) 旅まつり名古屋 名古屋・久屋広場

(2) 観光ブランド化推進業務委託事業

滋賀を周遊することを象徴的に表現するフレーズ「ビワイチ」(びわ湖を一周)を滋賀の観光ブランドとして定め、本県のキーワードとなる自然、歴史、仏教などを加えた体験型の観光プログラム(観光コース)を、旅行会社に募集し、認定委員会で選定した認定コースを広く告知し、誘客促進を図った。また、ビワイチ素材22件の発掘に取り組んだ。

①ビワイチ認定全7コース

- ・第一回びわ湖冒険の旅 13日間(BSCウォータースポーツセンター)
- ・湖国十一面観音巡礼(朝日旅行 大阪支店)
- ・日本一の湖 琵琶湖ぐるり一周ウォーク(全8回)(クラブツーリズム)
- ・台湾自転車愛好家による琵琶湖一周サイクリングツアー(近畿日本ツーリスト)
- ・JR車両貸切 琵琶湖一周号(全3回)(朝日旅行)
- ・近江の街道を歩く(神戸新聞旅行社)
- ・比叡山延暦寺を極める!～正式参拝と天台薬師の池「びわ湖」4島めぐり(JTB)

②広報宣伝

- ・ホームページ
- ・フェイスブック
- ・ポスター

- ・絵葉書
- ・プロモーション映像

(3) 日本の100選として選ばれた観光名所をテーマとする観光ルート開発・情報発信事業

県内における様々な日本の100選を巡る観光ルートや100選マップの冊子を作成し、ホームページでも情報発信をした。

- ・観光ルート モデルコース（12コース）
- ・68ヶ所の100選をイラスト地図にて説明



(4) 地域観光活性化支援事業

本県の誘客促進および誘客のための新たな観光資源の創出を図るため、市町、地域観光振興協議会、JRなど観光事業者の幅広い主体が連携を強化しながら、実施する各地域の観光活性化事業に対して支援を行った。

- ・広域観光資源創出事業
- ・観光ルート設定とアクセス整備事業

事業主体	平成25年度助成額（円）
びわ湖大津志賀観光振興協議会	2,460,000
湖南地域観光振興協議会	600,000
南びわ湖観光推進協議会	455,000
守山市観光物産協会	261,000
野洲市観光物産協会	186,000
甲賀広域観光振興協議会	525,000
湖南市観光物産協会	319,000
東近江観光振興協議会	889,000
東近江市観光協会	450,000
近江八幡観光物産協会	400,000
近江商人ゆかりの町連絡会	500,000
安土町観光協会	212,000
織三観音観光振興連絡会	245,000
湖東三山観光振興連絡会	700,000
多賀町	832,000
びわこ湖東路観光協議会	1,680,000
びわ湖・近江路観光圏協議会	1,257,000
彦根市	800,000

彦根観光協会	416,000
北びわこふるさと観光公社	1,598,000
長浜観光協会	550,000
米原観光協会	308,000
びわ湖高島観光協会	252,000
びわ湖パノラマウォーク実行委員会	105,000
計	16,000,000

(5) 国内旅行誘致事業

平成25年度は、第62回伊勢神宮式年遷宮に併せた「多賀大社親子神様詣り」シャトルバスの共同販売に旅行会社5社（JTB、近畿日本ツーリスト、日本旅行、トップツアー、近江トラベル）の「宿泊プラン」パンフレット掲載に取り組み認知度強化を行った。また、湖東三山スマートインターの開通を機に、マイカー観光客をターゲットに「ビワイチApp」を活用したスタンプラリーを湖東地域で展開をスタートさせた。さらに、キャンペーンや旅行会社へのキャラバンでは、九州や首都圏以外に、広島地域や名古屋地域で旅行会社の担当者へ商品造成依頼など情報発信を実施した。9月には旅行会社商品企画担当者を招聘し、商談会や現地研修にも取り組み、滋賀県への誘致促進を図ってきた。

① 国内旅行誘致部会事業

- ・全国の旅行会社の商品企画・造成・仕入担当者対象の現地研修会の開催
平成25年9月9日（月）～9月10日（火）
場所：琵琶湖汽船および大津地域のホテル
10日 3コースに分かれ現地視察を実施
旅行会社34名、市町・部会員130名
- ・広島地区旅行会社キャラバン
平成25年12月16日（月）
場所：広島市内の旅行エージェント訪問
旅行会7社、市町・部会員14名
- ・中京地区旅行会社商品企画造成担当者意見交換会
平成26年2月10日（月）
場所：ANAクラウンプラザホテル グランコート名古屋
旅行会社13名 市町・部会員29名参加
- ・首都圏旅行会社商品企画造成担当者意見交換会
平成26年2月26日（水）
場所：品川プリンスホテル（東京）
旅行会社11名、市町・部会員24名

(6) 旅行商品化提携事業

各旅行エージェントにおいて、滋賀県を目的地とした旅行の商品化や旅行会社とのタイアッ

ブにより企画段階から（公社）びわこビジターズビューローが積極的に関与した旅行商品の造成を目的として、個人旅行用パンフレットの作成経費および団体旅行商品の企画・宣伝経費の一部を補助し、滞在型の誘客を推進した。

① 個人型旅行商品等の企画等に対する助成

・首都圏の旅行会社3社

JTB東日本、日本旅行、近畿日本ツーリスト

② 団体旅行商品等の企画等に対する助成

・首都圏の旅行会社（4社）

JTBメディアリテリング、クラブツーリズム、阪急交通社、じゃらん

ア 個人旅行用パンフレット作成等に対する助成（3社）

旅行会社名		商品名	対象商品期間	助成額(円)
1	(株)日本旅行 赤い風船 東日本事業部	宿コレクション 京都・奈良・びわ湖・天橋立 へ行こう	H25. 3. 16 ～H26. 5. 6	250,000
2	(株)JTB東日本 国内商品事業部	エースフリープラン 京都・奈良・びわ湖 ほか (春、夏、秋、冬)	H25. 4. 1 ～H26. 4. 6	980,000
3	近畿日本ツーリスト(株) メイト事業部	メイトフリープラン パーソナリップ京都・奈良 びわ湖・天橋立・城崎温泉	H25. 4. 1 ～H26. 3. 31	270,000
合 計				1,500,000

イ 団体旅行商品の企画等に対する助成（4社）

旅行会社名		商品名	対象商品期間	助成額(円)
(株)阪急交通社 東日本メディア営業1部		「トラピックス倶楽部」 「新作・高額DM」	各月	480,000
(株)JTB メディアリテリング		「たびものがたり」	各月	420,000
クラブツーリズム(株)		「旅の友(東日本版)」 「バスの旅 東京版」	4月～3月	1,100,000
リクルートライフスタイル じゃらんneto		関西中国四国じゃらん本誌 「滋賀県特集」	年間	1,000,000
合 計				3,000,000

(7) 国際観光推進事業

ウェブサイトgo.biwakolによる情報発信を核として、台湾・韓国・香港・中国・シンガポールに対しては、継続的な情報提供を図った。また、新規誘致ターゲットとして、タイ・マレーシア・インドネシア・ベトナム4カ国には、現地での商談会参加やファムトリップ等で滋賀の認

知度を高め魅力を発信する事業を展開した。

① 訪日外国人誘客事業（招請事業）

「関西地域振興財団」、「中部広域観光推進協議会」、「京滋国際観光誘客推進委員会」や愛知、岐阜、三重の3県及び名古屋市と連携し、ビジット・ジャパン事業の活用で現地旅行会社、メディア、ブロガー、教育旅行関係者を招請しての「ファミトリップ」を積極的に実施した。

また、その際には部会員協力のもと視察時や商談会等で会員施設の情報提供や人的交流のパイプ作りで今後の展開に繋がるよう努めた。

一方、訪日教育旅行誘致では学校交流アレンジに加え、県内観光の促進を図るとともに当日のアテンド、資料提供を行った。

〈実施招請事業〉*抜粋

ア 関西地域振興財団関連

- ・ 6月9日、12～13日 ベトナム旅行会社・メディアファミトリップ 旅行会社4社4名、メディア2社6名



彦根城



まるたけ西川(近江八幡)

- ・ 8月5～7日 ビジット・ジャパン中国PR事業
上海・全日本記者による食文化取材 4名
- ・ 10月28日 マレーシアメディアファミトリップ 4名
- ・ 11月12日 中国旅行会社ファミトリップ 3社3名
商談会 ホテルポストンプラザ草津 部会員5社6名
- ・ 12月10～12日 中国旅行会社メディカルファミ 10名
- ・ 1月16～17日 マレーシア旅行会社ファミトリップ 3社3名
- ・ 1月23～24日 韓国ブロガーファミトリップ 4名

イ 中部広域観光推進協議会関連

- ・ 6月3日 台湾旅行会社・メディア・ランドオペレーター商談会
開催地:名古屋 参加:旅行会社10社10名、部会員3社3名
- ・ 8月30日 韓国メディア等招請事業 招請者7名
- ・ 1月13～14日 インドネシア旅行社ファミトリップ 招請者7名
- ・ 1月17日 インドネシア旅行会社商談会
開催地:名古屋 参加:旅行会社5社5名、部会員2社2名
- ・ 3月5～6日 中国旅行会社ファミトリップ 招請者4名

ウ 京滋国際観光誘客推進委員会関連

- ・ 1月24～27日 シンガポール・香港・台湾・韓国ブロガーファミトリップ

招請者 4名

エ 訪日教育旅行誘致事業

- ・ 4月23日 台湾・国立楊梅高級中学(35名)と滋賀学園高校との学校交流
- ・ 4月24日 台湾・台南女子高級中学(75名)と立命館守山高校との学校交流



国立楊梅高級中学(滋賀学園高校)



台南女子高級中学(立命館守山高校)

- ・ 5月23日 台湾・国立台南家齋女子高級中学(40名)と比叡山高校との学校交流
- ・ 5月29日 台湾・国立羅東高級中学(23名)国際情報高校との学校交流
- ・ 6月5日 台湾・高雄市立高雄工業職業学校(40名)と八幡工業高校との学校交流
- ・ 6月14日 台湾・国立新竹高級中学(36名)と八幡商業高校との間で姉妹校協定調印と学校交流
- ・ 8月5～6日 福井県連携事業 中国・広東省広州市 訪日教育旅行団「2013暑期漫画・芸術之旅」来県 30名
- ・ 11月12日 訪日台湾教育旅行関係者県内視察 招請者8名
- ・ 12月5日 台湾・新莊高級中学(39名)と比叡山高校との学校交流
- ・ 12月11～12日 台湾・教育旅行取扱旅行会社 県内視察 3社3名
- ・ 12月10日 台湾・中壠高級中学(27名)・泰山高級中学(35名)と国際情報高校との交流

※台湾からの訪日教育旅行来校数は上記9校の他、県内宿泊・観光施設見学で8校あり。
また、韓国からは1校あり。

オ その他

- ・ 9月4～6日 京阪電鉄連携事業 タイ TV 番組 Majide Japan 県内取材(6名)



琵琶湖ホテル



三井アウトレットパーク滋賀竜王

- ・ 10月27～31日 中国・上海旅行会社招請事業(甲賀市受託事業) 来県4社4名
- ・ 1月25～26日 ランドオペレーター県内視察(甲賀市受託事業) 5名 (東京4社、愛知1社)
- ・ 10月25日 シンガポール・プロカーファムトリップ 1名

② 認知度向上事業(派遣事業)

海外PR活動では、中部広域観光推進協議会との連携で2013ITF台北国際旅行博に出展するとともに、現地旅行会社との商談会に参加し、台湾から更なる滋賀県への誘客に努めた。また、台湾と中国・広州では現地旅行会社や教育関係者に滋賀が教育旅行先の適地であることをPRした。

<実施派遣事業>*抜粋

ア 中部広域観光推進協議会関連

- ・10月16～19日 2013ITF台北国際旅行博参加 台湾・台中、台北
ビューロー2名

イ 関西地域振興財団関連

- ・6月16～22日 マレーシア・タイ プロモーション ビューロー1名

ウ 台湾教育旅行誘致協議会関連

- ・9月22～26日 ビジット・ジャパン 台湾訪日教育旅行事業現地説明会
台湾・台北、台中、高雄 ビューロー1名、県1名
- ・2月16～20日 中国・広州訪日教育旅行プロモーション 県1名、ビューロー1名

エ 単独派遣プロモーション

- ・8月15～20日 タイ・シンガポールプロモーション ビューロー1名、県1名
- ・2月21日 タイ・バンコクプロモーション ビューロー1名
- ・12月5～8日 台湾・高雄プロモーション (まつりイン台湾)
部会員3社4名、県1名、ビューロー1名

③ 海外向け広報・観光情報の提供

日本政府観光局(JNTO)や近畿運輸局、関西地域振興財団、日本交流協会(台湾)、在外関西プロモーションオフィス(KPO)、中部広域観光推進協議会や、首都圏のランドオペレーターへの営業で各国訪日客動向や情報を収集し、部会員への情報提供、共有強化を図り、滋賀県内への誘致に結びつけた。また、PR活動においても横浜での「トラベルマート2013」への出展により、各国旅行会社との商談会で滋賀県のアピールを積極的に実施し、誘客拡大に取り組んだ。

JNTOや中部広域観光推進協議会、民間企業のウェブサイトに、go.biwako ウェブサイトとリンクして滋賀の情報を発信した。また、県内の留学生や社会人で構成している Biwako Visitors Club は近畿運輸局事業の留学生サポーター事業に参画し、外国人目線で滋賀の観光情報を発信した。

また、外国4言語(英語、韓国語、中国簡体字、繁体字)パンフレット作成と英語版マップの改訂増刷する一方、東南アジアインバウンド市場開拓事業として、新たにタイ、ベトナム、インドネシア語のパンフレットを新規作成した。

<実施事業>*抜粋

ア 情報提供

- ・ 5月16～17日 観光庁・JNTO「ASEAN-Japan Travel Mart 2013」参加
東京 部会員2社2名 ビューロー1名
- ・ 7月 1日 広東設計師日本商務考察団27名
- ・ 10月31日 韓国・高麗大学付属病院20名
- ・ 11月28～29日 トラベルマート2013横浜 参加者：部会員4社5名
- ・ 12月12日 大津商工会議所 中国旅行会社・メディア招請 4社4名
- ・ 1月15～16日 東南アジア旅行会社商談会 沖縄 部会員2社2名、ビューロー2名
- ・ 1月22～23日 中国・日本親子ツアー 21名
- ・ 1月23～24日 中国・日本関西北陸冬修学ツアー 35名
- ・ 2月7～8日 ビジットジャパン日台教育旅行交流座談会 ビューロー1名、県1名
- ・ 3月27日 中国・広州市民間文芸家協会25名

イ go. biwako 関連

- ・ go. biwako サイト内の「Explore Shiga」に大野神社や竹生島の情報を掲載。
- ・ サイト内検索の構築や施設情報の修正等 サイトの回収。
- ・ go. biwako ウェブサイトのアクセス状況

4言語合計	78,046件(前年度比145%)
・英 語	39,678件(前年度比141%)
・簡体字	5,502件(前年度比133%)
・繁体字	29,515件(前年度比158%)
・韓国語	3,351件(前年度比106%)

- ・ 県内の主なイベントや観光情報をまとめたメールマガジンを海外旅行会社等に毎月発行
- ・ 日本政府観光局(JNTO)へのメールマガジン情報提供で JNTO 海外向けウェブサイトや facebook にその内容が掲載された。
- ・ タイ訪日観光ガイドブック「Japan World Mook」への記事掲載
- ・ 関西シーン12月号「Kansai Winter sports」の特集に係る掲載情報提供
- ・ 外国人旅行社向けフリーガイドブック「GOOD LUCK TRIP TOKYO」への写真・情報提供

④ インバウンド部会事業

海外派遣として10月のバンコクでの ALL 関西フェスティバルに出展し、部会員も参加して滋賀県ブースで B t o C での PR と現地旅行会社へのセールスコールを実施した。また12月にはタイの旅行会社10社を単独招請し、県内施設視察と会員との商品造成に結びつけるため、B t o B の商談会を実施した。また部会員対象で、県内で外国人が多く訪れる施設への研修を実施した。

⑤ 東南アジアインバウンド市場開拓事業

経済発展が著しい東南アジア諸国からの誘客を促進するため、セールス活動を展開し認知度向上を図った。また、観光事業者がムスリムに対する理解を深め、情報やサービスの提供、受け入れ環境整備の重要性への理解を深めるため、観光事業者に向けてムスリムおよびハラールに関する勉強会を開催した。

<実施事業>*抜粋

ア 海外派遣

- ・ 10月17～21日 (JTB 旅ホ連びわ湖支部共催事業)

タイプロモーション ALL 関西フェスティバル・旅行社プロモーションバンコク

部会員6社6名

・11月14～18日 ベトナムプロモーション ジャパンスタイルフェスティバル in Vietnam

部会員3社3名

イ 招請事業

・12月14～19日 (JTB 旅ホ連びわ湖支部共催事業)

タイ・バンコク旅行会社ファムトリップ 10社10名

商談会 部会員他23社34名 交流会:部会員他27名、知事他県4名

ビューロー6名 計71名



びわ湖バレイ



商談会(ホテルストップザ草津)

ウ 研修会

・4月26日～ 2013食博覧会

・9月19日 びわ湖バレイ、BSCウォータースポーツセンター 部会員8名

・2月24日 ASEANからのムスリム観光客受入セミナー

(東南アジアインバウンド市場開拓事業)

- ・弁当(ポークフリー)試食
- ・講演:インバウンド観光市場としてのASEAN
- ・講演:インドネシア 観光マーケットとムスリムの習慣

(県民交流センター 部会員22名、会員11名、県他6名、ビューロー6名)



(8) 教育旅行誘致事業

平成25年度は、県内各地をめぐるモデルコース周知を目的にリーフレットを作成するなど新たな事業に取り組み、旅行会社担当者の県内研修を実施したほか、首都圏等での教育旅行誘致キャラバンも昨年に引き続き年2回実施し、より積極的に各事業を執行、県内旅客誘致に努めた。

① 旅行会社現地研修会

ア 近畿日本ツーリスト 教育旅行担当社員の滋賀・奈良地区研修会

期日 : 平成25年8月19日(火)～21日(水) 3日間

※19日は奈良地区のみ

会場 : びわこ緑水亭

参加者 : 支店担当者21名、京都仕入センター他 3名

ビューロー教育旅行部会員 : (講演会・交流会) 17社、17名



② 誘致促進

ア 首都圏教育旅行誘致キャラバン結団式の実施

期日 : 平成25年6月24日(月)

場所 : コラボしが21 3階(中会議室)

参加者 : 嘉田知事、部会員20名、ビューロー3名、県2名 計26名



イ 首都圏教育旅行誘致キャラバンの実施

期日 : 平成25年7月3日(水)～4日(木)

訪問先 : 首都圏修学旅行取り扱い支店

都内10件、埼玉/千葉11件、神奈川12件、宮城/福島11件、
茨城/栃木9件 : 計53件

参加者 : 部会員20名、ビューロー3名、県2名 計25名

ウ 琵琶湖との出会い体験事業(教育旅行担当教諭現地研修会)の実施

期日 : 平成26年1月23日(木)～24日(金)

参加者 : 各地区修学旅行委員会より計15名、会員18社18名



エ 第2回教育旅行誘致キャラバン結団式の実施

期日 : 平成26年2月6日(木)

場所 : コラボしが21 6階(労働福祉セミナー室)

参加者: 部会員15名、ビューロー4名、県2名 計21名

オ 第2回教育旅行誘致キャラバンの実施

期日 : 平成26年2月19日(水)~20日(木)

訪問先: 各地修学旅行取り扱い支店

都内9件、神奈川13件、千葉7件、埼玉6件、仙台・福島12件、
茨城・栃木9件: 計56件

参加者: 部会員15名、ビューロー3名、県職員2名 計20名

カ 教育旅行モデルコースチラシ作成ならびに「滋賀県観光情報」WEBサイトへのページ追加

滋賀県での巡回コース周知のため、近隣府県にまたがる6つのモデルコースを紹介するリーフレットを作成したほか、既存の6コースに加えて新たな2コースを「滋賀県観光情報」WEBサイトに追加

キ 教育旅行各地区セールスの実施(コンベンション・修学旅行誘致促進事業)

関東・九州・東北・中部・中四国及び、関西圏旅行会社仕入販売部に対しセールスを実施

(9) コンベンション誘致事業

平成25年度は、国内外の会議や大会、企業研修等のコンベンションを県内に誘致するため、これまでの取り組みで着実に成果があり、また継続実施により今後も成果が見込める事業を中心に取り組んだ。また、日本で唯一のコンベンション関係展示会・トレードショーである「国際ミーティング・エキスポ」に昨年に引き続き出展し、積極的な事業展開を図った。

① ビューローと県との連携事業

ア 地方都市コンベンション関連団体合同ワークショップ

期日: (第1回) 平成25年7月18日(東京湾クルーズ シンフォニー船上)

(第2回) 平成25年11月27日(ホテルグランドアーク半蔵門)

(第3回) 平成26年2月26日(東京湾クルーズ シンフォニー船上)

参加: 7月 会議大会主催団体 32団体 54名

11月 会議大会主催団体 31団体 52名

2月 旅行会社・PCO 15団体 30名

内容: 6地区のコンベンション誘致団体が連携、首都圏の全国持回り会議実施団体等に対して滋賀のPR・告知のプレゼンを行い、名刺交換会を開催した。

全国持回り会議実施団体や旅行会社、PCOに対して、継続的に誘致セミナーを実施することにより、各ブロック（6地区）にある各々の地方都市の魅力と最新情報を伝えることで誘致の相乗効果をねらった。

※PCO(コンベンション等を組織・企画・運営する会社)



イ 第23回国際ミーティング・エキスポ（IME2013）出展

期 日：平成25年12月11日～12日

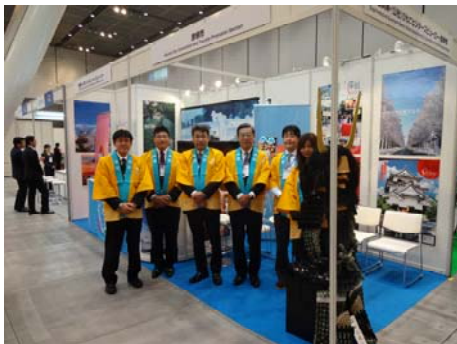
場 所：東京国際フォーラム

出展者：出展者数81団体

来場者：延べ3,321名

会 員：参加7社、パンフレット送付9社

商 談：25件（※うち開催見込み案件6件）



ウ JCCB(日本コンgres・コンベンション・ビューロー)通常総会および首都圏コンベンション事務局合同セールスの実施

期 日：平成25年6月17日～19日

場 所：東京・京王プラザホテル(通常総会)、東京都内一帯(合同セールス)

内 容：コンベンション主催団体等に対して、7月の「地方都市コンベンション関連団体合同ワークショップ」への参加を促すとともに、平成26年度以降の情報収集を行った。

エ コンベンションセールスの実施（コンベンション・修学旅行誘致促進事業）

コンベンション開催実施団体事務局へ直接的なアプローチをし、滋賀県がコンベンション開催にふさわしい県であることの情報提供を含むプロモーションを行った。

② ビューロー主担当事業

ア 誘致事業

・「コンベンション首都圏合同セールス」の実施

期 日：第1回 平成25年 6月18日~19日

第2回 平成25年10月8日~9日

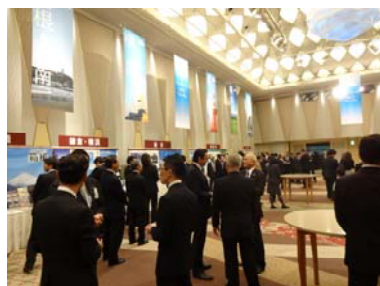
内 容：平成17年より継続して首都圏で実施をしている「6地区合同セミナー」に参加し、長崎県観光連盟からの提案により、同連盟が所有する首都圏の「学会、協会事務局リスト」に基づき、都内セールスを実施した。

・「プリンスホテルMICEフォーラム」開催に伴う観光・コンベンションPRブース出展

期 日：平成26年2月25日

場 所：グランドプリンスホテル新高輪

内 容：プリンスホテルのMICE戦略を発信するフォーラムに、県内のコンベンション施設や滋賀の観光情報発信するためPRブースを出展。招待者は、重要法人企業・官公庁・主要旅行会社・PCO・スポーツ団体等約1,000名。



イ 開催支援

・パンフレット、資料袋、コンベンションガイド等の提供を4月~3月の間に延べ29件の大会、26,690人に対して支援実施した。

・特別に有償支援した「クリアファイル」の支援実績は、1件200部

ウ 情報収集

・日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）主催に参加

期 日：平成25年5月16日~17日

会 場：国際ホテル21（長野市）

内 容：MICE誘致のための地域間連携について 等

期 日：平成25年10月24日~25日

会 場：岡山コンベンションセンター 他

内 容：支援メニューと財源確保はどうあるべきか 等

エ 情報発信

・コンベンション部会ホームページの変更

・プレゼンテーションデータ作成

(10) 一般参加型イベントの警備運営マニュアル作成事業

県内最大のイベントである「びわ湖大花火大会」をモデルに、警備のあり方や運営方法等について調査し、今後、県が一般参加型イベントを実施する場合の警備運営に参考となるマニュアルを作成した。

(11) 広域観光振興事業

① 日本観光振興協会共同事業

国内の観光をさらに発展させるため、各都道府県が(公社)日本観光振興協会に負担金を拠出し、「全国広域観光振興事業」を実施した。

<主な事業>

- ・観光人材の育成 : 観光地域づくり人材育成研修等
- ・観光地域づくりの支援 : 観光地域づくり基盤形成促進事業等
- ・広域観光の推進 : 広域観光ルート整備促進事業、観光圏支援等事業等
- ・地域インバウンドの推進と受け入れ体制の整備 : 地域への送客・誘客強化事業等
- ・新たな観光アイテムの創出とICTを活用した観光需要の喚起

② 日本観光振興協会との連携

関西+三重県による関西合同観光キャンペーン「ほんまにええとこ関西観光展」へ参加した。

・福岡キャンペーン

期日：平成25年10月26日(土)～10月27日(日)

場所：ソラリアプラザ イベントスペース「ゼファ」

・横浜キャンペーン

期日：平成26年2月7日(金)～9日(日)

場所：横浜新都市プラザ

・京都キャンペーン

期日：平成26年3月7日(金)～9日(日)

場所：京都駅ビル2F インフォメーション前 特設会場

③ 中部広域観光推進協議会との連携(中部広域観光セミナーでのPR)

・平成25年9月24日 大阪：ホテルグランヴィア大阪

・平成26年1月27日 東京：ホテルメトロポリタン

(12) 物産振興事業

本県で製造販売されている数多くの優れた県産品を県内外に紹介するための展示即売会の開催や、販路開拓および観光物産宣伝活動を実施し、本県のイメージアップを図った。

① 郷土物産展開催事業

<本部>

名称	開催場所	開催期間	参加数	売上実績(円)
第3回近江のうまいもんええもん市	平和堂アル・プラザ草津	H25.5.29～6.2	18	4,649,853
滋賀の美味しいもの特集	そごう神戸店	H25.7.2～7.8	6	2,071,704
食博覧会2013	インテックス大阪	H25.4.26～5.6	2	610,340
第44回鴨川納涼	鴨川西岸河川敷	H25.8.3～8.4	1	280,000

第32回江州音頭フェスティバル	京都勧業会館	H25. 8. 9	8	450,000
イオン滋賀県物産展	イオン草津店	H25. 8. 23～8. 27	9	1,539,292
JR大阪駅滋賀のブランド展	JR大阪駅時空の広場	H25. 9. 21～9. 25	7	722,653
第9回滋賀のええもんうまいもん祭り	西武大津ショッピングセンター	H25. 10. 9～10. 14	38	20,014,929
第3回近江うまいもんええもん市	ビバシティ平和堂	H25. 11. 1～11. 4	14	1,675,819
滋賀県のうまいものフェア	西武高槻店	H25. 12. 2～12. 6	4	690,004
おいで～な滋賀 in 名古屋	名古屋金山総合駅	H26. 2. 10～2. 11	1	39,735
第26回琵琶湖夢街道大近江展	高島屋日本橋店	H26. 2. 25～3. 3	51	69,515,696
旅まつり名古屋	名古屋久屋大通公園	H26. 3. 15～3. 16	1	135,600
本部 合計	13事業	62日間	160社	102,395,625

< 東京 >

名 称	開 催 場 所	開催期間	参加数	売上実績(円)
ふるさと観光大使タボくん 1日館長	ゆめぷらざ滋賀	H25. 7. 1	1	44,300
地域マルシェ	フォレスト虎ノ門	H25. 9. 26～9. 27	1	41,590
ふるさと47ブレッジ	東京都庁都民広場	H25. 9. 30～10. 1	1	39,910
近江味紀行	高島屋日本橋店	H25. 10. 9～10. 15	9	8,313,212
淡海の人大交流会	品川プリンスホテル	H25. 10. 3	1	46,665
東京 合計	5事業	13日間	13社	8,485,677

合計（本部、東京）（平成25年4月～平成26年3月）

参加企業数173社 総売上額110,881,302円

② 観光土産品認定審査会等への参加

- ・第48回全国観光土産品公正取引協議会石川大会への参加

期 日：平成25年10月17日（木）

会 場：ホテル金沢

参 加：滋賀県観光土産品公正取引協議会事務局

- ・第54回全国推奨観光土産品審査会への参加

主 催：日本商工会議所・全国観光土産品連盟

審 査 日：平成25年11月29日（金）

審査会場：東京都千代田区内神田 TCUビル全国観光土産品連盟

参加企業：5社11品目・・・すべて推奨品として認定された。

推奨期間：平成25年4月1日～平成27年3月31日の2年間

第54回厚生労働大臣賞受賞 近江帖 源氏物語姫絵巻

③ 第9回滋賀のええもんコンクール

地域間競争や新商品が氾濫する中で、滋賀県で生産されているビューロー会員の特産品・滋賀ブランドを一堂に集めたコンクールと物産展を開催した。

期 日：平成25年10月9日（水）～14日（月）6日間

会 場：大津西武ショッピングセンター6階催会場

参加企業数：32社（食品24社、工芸8社）

投票総数：972票

結 果：最 優 秀 賞	西友商店「うなぎ炭火焼蒲焼詰合せ」	112票
食品部門優秀賞	大津プリンスホテル「いとおかし さつまいも」	76票
工芸部門優秀賞	永楽屋「香りひこにゃん」	71票

物産販売者数：43社（食品36社、工芸7社）

内 容：県産品の展示・販売および製造実演、滋賀県の観光・文化紹介等

（13）「13食の事業博覧会・大阪」参加事業

滋賀のブランドイメージを高め、大都市圏から本県への来訪者を誘致するため、「食」をテーマとした博覧会に出展し情報発信した。

- ① 会 期 平成25年4月26日（金）～5月6日（月） 11日間
- ② 会 場 インテックス大阪
- ③ 入場者 65万6000人
- ④ 本県出展者数 2社

（14）滋賀観光物産情報センターの運営

来訪者の利便を図るためJR大津駅1階に設置した滋賀観光物産情報センターにおいて、滋賀の観光物産情報を提供するとともに、物産の常設展示や企画展等により販売促進を図った。

また、定期的に企画展を開催し、観光と物産のPRおよび販売促進につなげたが、平成26年3月23日をもって閉所した。

- | | |
|-----------|---------|
| ① 常設店舗数 | 43店舗 |
| ② 企画展開催回数 | 11回 |
| ③ 来店者数 | 20,417人 |
| ④ 問合せ件数 | 5,522件 |

（15）東京観光物産情報センターの受託管理

県から管理運営業務を受託している東京観光物産情報センター（ゆめぷらざ滋賀）において、首都圏における観光・物産振興拠点施設として、積極的かつ効果的な事業展開を図った。

下記①～⑩の実施により、センター来場者数は83,764人（前年度比：約130%）と大幅に増加出来、目標数値（65,300人）を大きく



上回る事が出来た。

① 取材協力

- ・テレビ、ラジオ：日本テレビ、BS朝日、CATVにつぼんふるさと便り、SORA×NIWA GINZA、ほか
- ・新聞、雑誌等：旅の手帖、旅行読売、TokyoWalker、男の隠れ家、ノジュール 月刊コロムブス、ステップ日本語（中国語・ハングル）、シティリビング 朝日新聞、読売新聞、東京新聞、産経新聞、日刊スポーツ、スポーツニッポン、旬刊旅行新聞 ほか

② 観光情報誌発行と県内情報の発送

年6回、約800部発行の「シグナル滋賀」に企画展・館内情報の紹介、首都圏でのイベント、県内情報を掲載し、県内パンフレットと併せて発送

③ 滋賀県内各団体の首都圏における活動（マスコミ訪問等）に対する支援

大津市、長浜市、近江八幡市、彦根市、東近江市、米原市、高島市、湖南市、豊郷町 多賀市、東近江観光振興協議会、びわ湖・近江路観光圏 ほか

④ 情報提供事業（近畿6府県合同） 年3回

⑤ 近畿6府県合同エージェント交流会（都道府県会館） 年1回

⑥ 滋賀県観光推進東京協議会 定例会・キャラバン 各年3回

⑦ 旅行エージェントの国内旅行商品化・拡大のためイベント・観光情報の提供

JR東海、JTB、日本旅行、近畿日本ツーリスト、クラブツーリズム、朝日旅行 阪急交通社、三越トラベル等各旅行会社への観光資料提供

⑧ 出版社や報道機関等へのイベント・観光情報・物産情報の提供によるパブリシティ掲載

⑨ 県内会員（観光・物産）への情報提供、販路拡大支援等

⑩ 首都圏での物産振興

物産展開催（年2回）、イベントへの出展、センター内常設展展開（47社）・企画展開催（年間10回）

⑪ 来所者への観光案内・資料提供、特産品販売、在京観光物産業者との連絡、報道機関等への資料提供など

（16）観光物産事業功労者等の表彰

観光物産事業の発展、振興に功労のあった個人、団体および優良従業員の表彰を定時総会の場で行った。

観光事業功労者 5名（今井文哲、塚本善三郎、前田幸一郎、今西仁、山本伸一）

優良団体 7団体（栗東市ボランティア観光ガイド協会、江州音頭 祭文家、愛知川駅コミュニティハウスるーぶる愛知川、美しいマキノ・桜守の会、新旭観光ガイドボランティアグループ、高島市物産振興会、アドベリー生産協議会）

優良従業員 31名

(17) セミナー等の開催

① びわこビジターズビューロー設立10周年・公益社団法人移行記念事業

平成25年度「びわこビジターズビューロー」が設立10周年を迎え、公益社団法人へ移行したことから、記念事業を実施した。講演会には一般県民の参加もあった。

開催日 平成26年2月13日(木)

会場 大津プリンスホテル コンベンションホール淡海

第1部 記念講演 参加者 133名

講演① テーマ「メディアが飛びつくPR～秘められた魅力を売り出す戦略～」

講師：株式会社TMオフィス 代表取締役社長 殿村美樹 氏

講演② テーマ「お返し的心」

講師：比叡山延暦寺 長藤 小林隆彰 師

第2部 記念パーティー 参加者 130名

② 滋賀経済団体連合会 人権啓発講演会

経済・企業活動における様々な人権問題について正しい知識を深めるため、経済団体連合会構成団体へ向けて人権啓発講演会を開催した。

開催日 平成26年2月28日(金)

会場 大津プリンスホテル コンベンションホール淡海

参加者 191名

演題 企業における障害者との共生について

講師 カルビー・イートーク株式会社 代表取締役社長 北村克家 氏

(18) 各種大会への参画・後援等

① 第30回記念 2013びわ湖大花火大会への参画

開催日 平成25年8月8日(木)

会場 大津港一帯

主催 びわ湖大花火大会実行委員会

来場者数 35万人



② 第3回びわ湖一周ロングライド2014事業への参画

前日イベント 平成26年3月15日(土)

開催日 平成26年3月16日(日)

主催 びわ湖一周ロングライド実行委員会

参加者 1,703名

③ ビワイチトレイルランニングプロジェクトへの参画

・ビワイチトレイルランニングinびわ湖バレイ

「女性限定! 鏑木毅さんと行くトレイルランニング 初級編」

開催場所 びわ湖バレイ 山麓

開催日 平成25年9月23日(月・祝)

主催 ビワイチ!トレイルランニングプロジェクト準備委員会

参加者 30名

- ・トレイルランニング セミナー(鎗木講師の講演とパネルディスカッション)

「鎗木毅が語るトレイルランニングの魅力」

開催日 平成25年12月21日(土)

会場 ピアザ淡海

参加者 45名

- ④ 地域観光物産関連団体等への後援

地域観光物産関連団体等が実施する観光物産振興事業等を後援した。

後援した行事・企画 56件